

パレット

佐野市制10周年記念・男女共同参画ネットワークさの設立10周年記念 男女共同参画講演会開催!!

～平成27年1月17日(土) 文化会館小ホール～



山田亜寿香さんと佐野少年少女合唱団dolce♪



山下泰子さんの講演

文京学院大学名誉教授山下泰子さんを講師にお迎えして男女共同参画講演会が開催されました。

講演に先立ち、市内の小学五・六年生による男女共同参画に関する標語・作文の表彰式が行われ、続くミニコンサートでは、佐野市出身の音楽家山田亜寿香さんが、少年少女合唱団ドルチェの皆さんと共演し、「芸術は佐野市発展のために大切なものの一つ」とお話しされました。

講演の中で山下さんは、男女が共に生きやすい社会のための羅針盤である「女性差別撤廃条約」を日本に根付かせたいと力説。女性を取り巻く現状を分かりやすく説明され、標語・作文の募集など小学生の頃から男女共同参画を推進する佐野市の取組は素晴らしいとおっしゃっていました。

また、山下さんはネパール遠隔地域の女性教員の養成にも尽力されているとのことでした。日本女性が参政権を得てから70年。

女性差別撤廃条約を批准してから30年。第4回世界女性会議(北京)から20年。女性の権利獲得のため第一線で活動されてきた山下さんの言葉は、どれも心に響くものでした。

特に「原点は教育」との強い思いには、多くの人がうなずいていました。

男女共同参画に関する標語・作文の最優秀受賞作品は4ページをご覧ください。



男女共同参画ネットワークさの加入団体による活動紹介パネル展が同時開催されました。

もくじ

女性が活躍できる職場作りを目指して P 2
次世代人材づくり 2014 参加報告、輝く女性	... P 3
男女共同参画に関する標語・作文紹介 P 4

女性が活躍できる職場作りを目指して

平成26年度均等推進企業部門 栃木労働局長優良賞受賞 株式会社 足利銀行

「女性が職場で能力を十分に発揮し活躍できるようにしよう。」という動きが広がる中、女性が働きやすい職場作りに積極的に取り組む企業が増えてきています。

そのような動きを支援する施策の一つに、厚生労働省が「職場における女性の能力発揮を促進する積極的な取り組み」(ポジティブ・アクション)及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取り組み」について、他の模範となる取り組みを推進している企業を表彰する「均等・両立推進企業表彰」があります。

平成26年度の表彰では栃木労働局長優良賞に株式会社足利銀行と株式会社東武宇都宮百貨店の2社が選ばれました。今回、足利銀行佐野支店にご協力いただき、実際に働いている二人の女性にお話を伺いました。

「女性が活躍できる職場作りプロジェクトチーム」の設置

・定期的に会議を開催し、課題の抽出や意見交換により、具体的な施策や目標を設定

「女性が活躍できる職場作り」に関するアンケート調査の実施

女性の活躍推進に向けた足利銀行の主な取り組み

チームマネジメント力向上等を目的とした

「あしぎん女性塾」の開催

人事制度の工夫

- ・結婚、出産、育児、介護等の理由により、やむをえず退職した職員を再雇用
- ・育児、介護期間中に、本人の希望により職位をいったん下げ、期間経過後の従来の職位に戻すことが可能
- ・子どもの学校行事等にあわせ半日単位で有給休暇が取得可能

廣田貴子さん(支店長代理・カスタマーアドバイザー)



- ・以前は結婚すると辞める女性が多かったのですが、今は結婚後も続けて働く女性が増えたと感じています。総合職の女性も増えています。
- ・キャリアアップのために特別なことをしてきたという実感はなく、肩肘張らずに上司のアドバイスを受けながら、長く勤め続けてきた結果だと思っています。家族にも仕事以外の面でサポートしてもらっています。
- ・係長級の職員を対象にした研修では、上役からの講話を聞き自分に求められていることが明確になりました。

- ・育休復帰をサポートするための講座の開催や時短勤務の制度などもあり、育児との両立のための職場のサポート体制も整っています。実際に育休明けにスムーズに復帰している同僚を間近で見ているので心強いです。
- ・お客様との交渉力など女性の強みを生かせる仕事だと思います。男女問わず、実力を評価してもらえる職場だと実感しています。

性別に関わらず、自分の努力、やる気次第でレベルアップでき、認められ、やりがいのある仕事だと実感しているお二人。育児休暇明けの復帰の環境も整っていて、半日休暇の制度なども子育て中の職員に好評とのことでした。



齋藤佳那さん(係長・融資グループ)

「とちぎ次世代人材づくり 2014」に参加して



「とちぎ次世代人材づくり2014」とは、人間性豊かで地域に貢献するリーダーの育成を目的に、県と市町が合同で実施している事業です。県外研修（平成26年度は北海道）を含む延べ11日間の研修を通じて、地域で活躍するリーダーとして必要なスキルの習得を目指します。



「日本女性会議 2014 札幌」にグループ全員和服で参加しました。（前列 左から2人目が大川さん）

栃木県は経済的にも社会的にも自立した女性が少ないために女性がリーダーとして活躍するための基盤がでないのではないかと考え、私たちのグループでは「地域社会における女性リーダーの創出と基礎研究」をテーマにしました。札幌では女性起業支援の団体「太田明子ビジネス工房」と「ニモニムリムリムおうちビジネス」を訪問。両者とも、札幌では女性が家事・育児・介護をして男性を支えるという意識の足かせが少ないこと、起業支援・再就職セミナーなどが充実していることが要因で女性の起業家が多いと話してくれました。



「日本女性会議 2014 札幌」交流会にて右から2番目が鎌田さん

（鎌田明子）

私たちのグループは、「互いに支え合い、心豊かに子育てできる地域社会をつくるためには」というテーマで、研修を企画しました。県外研修では札幌市にある「子育て支援ワーカースプットマト」と「シニアサロンおいでおいで」を訪問し、それぞれの年代が交流し、子育てやシニア支援に取り組んでいる実情調査をしました。日本女性会議では第一分科会で、コディネーターの上野千鶴子氏が女性が働きやすい環境にあるかどうかという調査では日本は先進国中最低水準にあることなど、資料から分析され、その問題提起を踏まえて、札幌で働く四人の女性から、出産と育児の壁を乗り越え、自らの生き方を切り拓いてきた実践報告を聞き、考えさせられました。



自分がしている作業が楽しくなる
と、他の人にも伝えたくまりました。
現在マルヤは日本ハウスクリーニング協会の「栃木認定校」として、ハウ

Q 資格取得のための講座を開講する等、人材育成にも力を入れていらっしゃいますね。

それが講座を受講し、「正しい掃除法」を知ったことで掃除が楽しいものになりました。それからは積極的に取り組むようになり、一般家庭へのハウスクリーニングへと事業を広げてきました。

Q ハウスクリーニング事業を始めたきっかけは？
10年前に日本ハウスクリーニング協会が主催する「整理収納・清掃（3S）コディネーター」の資格が取得できる講座を受講したことです。マルヤはもともと建物の内装工事を仕事としてきました。内装工事の仕上げとしての掃除からはじまり、やがてビジネスホテルの掃除なども請け負うようになりました。しかし初めは全くの自己流で掃除をしていて、掃除を楽しいと感じたことはありませんでした。

Q 今後の抱負は？

ハウスクリーニングや整理収納、家事代行の仕事を通じて働く力を養い、仕事を通じて自立することを目標としています。そのための職業訓練校を作りたいと思っています。

輝く女性

株式会社マルヤのクリーニング部
責任者 浦野 清美 さん
・日本クリーニング協会認定資格
整理収納清掃（3S）コディネーター
・ハウスクリーニング士1級



ハウスクリーニング、整理収納、家事代行等のかたわら、人材育成や起業支援にも積極的に活動。
会社理念「私たちの仕事の向こうにお客様の笑顔が見える。共に育ち育てる笑顔」

浦野さんは、元気があって、とても爽やかな女性でした。浦野さんのお話の中で、特に印象に残ったのは、「スタッフのみんなには仕事を通じて何かを感じ、強さを身につけて欲しい」との言葉でした。その言葉の通り、自分だけが輝くのではなく、人を育てることに意欲を燃やしていらっしゃいます。これからの活躍を期待したいと思います。

この仕事は、女性だからこそ気がつく部分があり、女性であることが有利であると感じています。お客様の家の中に入る仕事なので、女性の方がスムーズに受け入れていただけそうです。

ハウスクリーニングや整理収納、家事代行の仕事を通じて働く力を養い、仕事を通じて自立することを目標としています。そのための職業訓練校を作りたいと思っています。

ハウスクリーニング士等の資格取得および家事代行起業支援をしています。

Q 女性ならではの苦勞や利点はありますか？

この仕事は、女性だからこそ気がつく部分があり、女性であることが有利であると感じています。お客様の家の中に入る仕事なので、女性の方がスムーズに受け入れていただけそうです。



男女共同参画に関する 標語・作文

標語や作文を書くことにより、次代を担う子どもたちに男女共同参画について理解を深めてもらうため、市内の小学5・6年生を対象に、男女共同参画に関する標語・作文の募集を行いました。

〇標語の部

最優秀賞 1作品

優秀賞 7作品

入選 82作品

〇作文の部

最優秀賞 1作品

優秀賞 7作品

入選 13作品



第10回男女共同参画に関する標語・作文
最優秀賞・優秀賞を受賞されたみなさん

標語の部・最優秀賞

父と母

得意なことでも苦手なことでも
協力し合って幸せ二倍

界小五年 高野夏奈さん
たかの なな

作文の部・最優秀賞

「かわいくてかっこいい」

葛生小六年 丸山美鈴さん
まるやま みれい

私のお母さんは身長百六十七センチ、体重は、初めて診ていただいたお医者さんから、

「顔が小さいからわからないかもしれないませんが、かなり体重ありますよ。」

と言われたことがある位あるそうです。

その体型が災いして、どこの職場に行っても重い物を運ぶ時には母に声がかかります。しかし、母は小さい頃から右足の股関節脱臼という骨の病気で重い物を持つ時に足に負担をかけてはいけないとお医者さんに言われています。会社の人に話しても、

「日本人女性の平均的な人に、二十キロ以上の物を運んでくれと言っても、運ぶのは無理だろう。」
と言われてしまうそうです。

その二十キロの荷物の運搬は、女

性の時ばかりでなく男性から頼まれる時も何度かあったそうです。そういうとき母は、

「もう男のくせに、このくらい物を運べないなんて。私は外見で損ばかりしているわ。もっと小さく生まれればよかったです。」

と、一瞬考えてしまうことがあるそうです。

しかし、すぐに外見で重いものを持つ、持てないと決めつけられるのはとても嫌だと思いつつ、
「男性だから重いものを持つのは当たり前。」

と考えてしまう自分はもっと嫌だ、男性だからこつでなくちゃとか、女性だからこつあるべきではなくて、一人ひとりの人間としてできることを精一杯やればいいんだと考え直して、反省するそうです。

私が保育園生の頃、母は、

「女の子は赤やピンクの洋服を着るとかわいくて、男の子は黒や青の服を着るからかっこいい。」

と言ったとき、母は

「男の子が赤やピンクを着てかわいいのもおかしくないし、女の子が黒や青の服を着てかっこいい一番になったらかっこいいよ。あなたの好きなシンデレラは、ピンクのドレスをお姉さんに破かれ、魔法使いが出したブルーのドレスが、似合っていてきれいだったじゃない。女の子はこの色なんて決めないで、好きな色を着てかわいくなったりかっこよくなったり、いろいろな自分に変

身したほうが楽しいと思うな。」
と言ってくれたのを今でも覚えています。

実は私にはお父さんという人はいません。しかし、お母さんは私が悪いことや危ない事をしようとした時には怒ってくれたり、良い行いをした時などには、優しくほめてくれたり、遊びに連れて行ってくれたり、いつでも私のことを一人の子どもとして考えてくれています。だからお父さんがいなくても寂しいと感じることはありません。

私を大きく育ててくれた、そして何事にもくじけないで明るく根気強く取り組んでいるお母さんの事が一人の人間として大好きです。

編集後記

経済開発機構(OECD)加盟国「男性が家事をしない国」ランキングの中で、日本は堂々のベスト3入り。安部首相が「女性活用」といつても、国際的には説得力がありません。「家庭科」が男女共修になって既に二十年。「女性活用」は、まず男子生徒への家庭科教育の充実から。そんなことを思いました。

編集委員

井原陽子・今井美砂子・岩永秀彦
金子庸三・中里聖子・初山マサ子

【編集】佐野市男女共同参画情報紙編集委員

【発行】佐野市市民生活部 人権・男女共同参画課

〒327-0003 佐野市大橋町2183

TEL 02883 27 23354

FAX 02883 21 2774

E-mail jinkendanjo@city.sano.lg.jp